



かわせみ通信

発行：神奈川県自然環境保全センター
自然保護課

住所：神奈川県厚木市七沢657

TEL：046-248-6682

※野外施設の情報は、ホームページで詳しく見られます↓

野外施設自然情報

県立自然環境保全センター 生き物

検索



自然環境保全センターの野外施設には、身近な自然を観察する場の自然観察園(昭和57年オープン)と、樹木一つ一つをじっくり観察する場の樹木観察園とがあります。樹木観察園は約50年前(旧林業試験場時代)に整備されました。野外施設では、それぞれの季節に、生き物同士の巧みなつながりや、植物や虫たちの興味深い生命活動など、大自然の不思議な現象にいろいろふれることができます。

このかわせみ通信では、主に10～12月に記録された野外施設の自然の情報を掲載していきます。

<気になる生き物>

●水生生物調査をしました



クロセンブリ(左)とヤマトクロスジヘビトンボ(右)



ホトケドジョウ

サウガニ

オニヤンマのヤゴ

ヒメゲンゴロウ

平成28年10月22日(土)、自然保護課員と神奈川県フィールドスタッフなどのボランティア有志10名でこの5～6年、数年おきに行ってきた自然観察園の水生生物調査を行いました。少人数のため、水を抜いた沼一ヶ所と沢の一部で網を使って生き物を捕獲し、その種類を確認する簡単な調査です。とはいえここはまさに底なし沼！簡単に太ももまで嵌ってしまうので、採集は一苦勞。さらに専門家なしのメンバーで種類の判別にも悩みながらの調査でした。

結果、今回確認された生き物は右の表の通り。う～ん、ちょっとさみしい数でした…。池の水を多めに残したせいか、今まで池で捕獲、目撃されてきたフナやタモロコ、外来生物ブルーギルなどの魚類が捕れませんでした。ヤゴなどの水生昆虫はこれまで行ってきた池の調査でも種類数が少なく、今回も同じでした。

自然観察園は1960年頃まで谷戸田でしたが、その後耕作放棄地となっていたところを地形をそのまま維持した湿地や池に整備し、1982年(昭和57年)にオープンしました。湿地や

調査で確認された生き物

魚類	メダカ(メダカ科)・モツゴ(コイ科)・トウヨシノボリ(ハゼ科)・ドジョウ(ドジョウ科)・ホトケドジョウ(タニノボリ科)
昆虫類	オニヤンマ(オニヤンマ科)・ミルンヤンマ(ヤンマ科)・ニホンカワトンボ(カワトンボ科)・ヤマサナエ(サナエトンボ科)・ヒメゲンゴロウ(ゲンゴロウ科)・チビゲンゴロウ(ゲンゴロウ科)・ミズカマキリ(タイコウチ科)・ヤマトクロスジヘビトンボ(ヘビトンボ科)・クロセンブリ(センブリ科)・ガガンボの仲間・ユスリカの仲間
その他	サウガニ(サウガニ科)・ヌカエビ(ヌカエビ科)・アメリカザリガニ(アメリカザリガニ科)・カワニナ(カワニナ科)・ヒメタニシ(タニシ科)

池の水は上流の水源から流れる沢から取水しオーバーフローさせています。オープンから 30 年以上経ち、池を囲む木々が成長して池が暗くなり、またアメリカザリガニやブルーギルの影響もあって、水生植物とともに水の中の生き物は単純になっているようです。

いろいろと反省点が残る調査でしたが、水生生物調査はまたできたらいいと思います。興味のあるボランティアの皆様、そのときにはぜひご協力よろしくお願いいたします！



生き物採集中

<最近の話題>

●マナーを守って野鳥観察を！

この冬は 11 月に異例の積雪があったかと思えば 12 月になっても 10 月並みの暖かさが続き、あまり冬らしさが感じられない日々でしたが、冬の渡り鳥たちはいつもと同じように野外施設にやってきました。今シーズンは野鳥ファンに人気のルリビタキとクロジがよく観察されています。

冬は渡り鳥も多く、木の葉が落ちているので野鳥の観察や写真撮影に持ってこいの季節です。写真撮影をしにくる方もたくさんいるのですが、残念なこ

とに来園者のごく一部には施設の利用ルールや野鳥観察のマナーを守らない人がいるのです。開園時間より前に園内に入っていたり、エサや止まり木、コケなどが舞台装置のように設置されたりしていることが度々あり、自然保護課ではマナーを呼びかける看板を作りました。

野外施設はみなさんが利用するところであり他の人の迷惑でないかお互いに気を付け合うのはもちろんのこと、自然との接し方や環境にやさしく自然を楽しむためのマナーを学ぶところでもあります。その環境で生き物がどのようにくらしているのか注意深く観察して、私たちがもとの環境や生き物の習性を変えてしまうとどのような影響が出てくるか、ぜひ想像をめぐらせてみてください。

一生懸命ミミズを飲み込んでいるルリビタキがいました。これだけできればはお腹いっぱいだろうと思うような食事シーンでした。舞台をつくり、餌を置くことできれいな写真がとれるかもしれませんが、自然の中で生活している様子をそっとのぞかせてもらい本来の姿を写した写真の方がより魅力的なものになるのではないのでしょうか。

みなさんはどう感じますか？

野鳥撮影のみなさまへ

当園では、餌付け等は禁止しています。
“やらせ撮影”は自然や野鳥に何らかの影響を与えることになります。
当園は、自然を観察するみんなの施設です。
マナーを守っての撮影をお願いいたします。



神奈川県自然環境保全センター自然保護課(046-248-6682)

園内に設置した看板



置かれた切り株の上には餌のミルワーム



ミミズを飲み込むルリビタキ

【ミニ観察会に参加しませんか？】

ボランティアの解説員とともに野外施設の生き物を観察します。

* 毎週日曜日・祝日の 13:00 スタート

* 申込不要・参加費無料

* 当日の 13:00 に本館玄関前に集合（所要時間は約 2 時間）

↓ 詳しくは HP で！



傷病鳥獣救護の情報

※救護の情報は、ホームページで見られます↓

神奈川県 自然保護課 野生動物救護

検索



自然環境保全センター（旧自然保護センター）の傷病鳥獣の救護業務は、主に人間の活動が原因で傷ついて救護された県内の野生動物（鳥類と哺乳類の一部）を必要に応じて治療やリハビリを行い、野生に戻す業務を中心に昭和 53 年から行っています。

この「かわせみ通信」では、県民の皆様により持ち込まれた救護動物の「救護原因」や「リハビリ状況」などの情報を掲載していきます。

<平成 28 年 10 月～12 月の受け入れ実績報告>

受付件数の多かった上位種

1 位	タヌキ	10 件
2 位	キジバト	6 件
2 位	ヒヨドリ	6 件
4 位	マガモ	5 件
5 位	オオバン	4 件

人間が関係する主な救護原因

鳥類		哺乳類	
窓ガラスなどへの衝突	12 件	疥癬症(かいせんしょう)	5 件
ネコなどに襲われる	8 件	交通事故	3 件
交通事故	8 件	誤認保護	2 件
釣り糸(針)や防鳥ネットなどに絡む	2 件	ネコなどに襲われる	1 件
粘着剤に絡む	1 件		

●7年ぶりに救護されました！

平成 28 年 10 月 30 日に平塚市内の道路上でうずくまっていたところを救護されました。救護原因は不明ですが、やや痩せていて右の翼（上腕骨）を骨折していました。さらに両足に力が入らないため、立てない状態で受付しました。

受付時体重：300g

受付直後の写真→

① 私の名前を知っていますか？

ヒントは、フクロウの仲間で冬鳥として渡ってきて、草原やヨシ原、湿地などにいます。日暮れから活動を開始しますが、昼間に活動することもあります。羽音はたてずに飛び、鋭い爪でネズミや小鳥、昆虫などをつかまえて食べます。下の写真のように頭に羽角（うかく）という、耳のように見える羽があります。

① の答えは、裏面の最後にあります。

治療とリハビリをして、平成 28 年 12 月 5 日に無事、自然に戻ることができました！ 放野時体重：440g

放野直前の写真↓

7 年前に救護された個体の情報については、神奈川県自然環境保全センター報告第 8 号 p69、70 をご覧下さい。



●8年ぶりに救護されました！

平成 28 年 11 月 8 日に伊勢原市内で民家の庭に横たわっていたところを救護されました。少し痩せていて、骨折した右の翼（とう尺骨）が皮膚を突き破り、さらに正反対の方向に向いた状態で受付しました。（受付時体重：65.9g）←受付時の写真



②私の名前を知っていますか？

ヒントは、宮沢賢治の短編小説（童話）のモデルになった鳥です。夏鳥で平地から山地の林などの木の枝に腹を密着させて休息し、夕暮れから活動を開始します。羽音を立てずに飛び回り、大きく口を開けて飛んでいる昆虫を主に食べます。

②の答えは、最後にあります。



治療して翼は正常な位置にもどりましたが、飛ぶことができません。餌も自力で食べられないので、毎日食べさせてもらっています。



【イベント情報】

●救護動物特別公開の日程が3月から4月に延期になりました！

日時：平成 29 年 4 月 23 日（日）13：30～15：30

場所：自然環境保全センター 鳥獣保護棟

申込不要・参加無料・雨天決行（強風や大雨など悪天候を除く）

※感染症などの発生により中止する場合があります。ご了承ください。



【お知らせ】

●野鳥の受入れを中止いたします

高病原性鳥インフルエンザの感染拡大防止・人的拡散防止のため、野鳥のみ受入れを中止いたします。

なお傷病ほ乳類は、今までどおり受入れいたします。

なお、最新の受入れ情報につきましては、ホームページでご確認下さい。（平成 29 年 2 月 8 日以降）

●傷病鳥獣受入れ定休日の試行を行います

定休日：毎週月曜日（祝日の場合は、翌日）、年末年始（平成 28 年 12 月 28 日から平成 29 年 1 月 4 日）

試行期間：平成 28 年 11 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日 ※事情により、期間が変更する場合があります。

●傷病鳥獣救護に関するお問合せ番号が変更になりました

お問合せ番号：046-248-0500

受付時間：9時00分から16時30分

ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。